蔵王嶽
広報
かじき
No.384
昭和61年10月号
発行 加治木町
編集 総務課
題字 東町長

新米

十月は実りの秋――待望の新米シーズン到来といいたいところですが、実はもうとっくに新米が食卓にのぼっていることをご存じですか。

最近は、稲の刈り入れの時期が早くなり、種子島や千葉県、宮崎県あたりでは八月十日ごろから始まっています。

これは、稲の開花期が九月の台風シーズンにあたらないように栽培の時期を早めたためです。

ところで、実りの秋十月は、「食生活改善普及月間」です。

健康と深いかかわりをもつ食生活――日常の活動に合ったエネルギーを野菜や肉、穀物などからバランスよくとることを心がけてください。

5年生の学年園で刈り入れが始まる（竜門小学校）

◆人口23,357人(＋58)男10,948人(＋22)女12,409人(＋36)世帯数 7,981(＋9) 61.9.1現在（ ）前月比

助役に向江重光氏を再任

第五回町議会臨時会

第五回町議会臨時会が、八月三十日開催され「助役の選任について議会の同意を求める議案」と、「加治木中学校の校舎増築工事請負契約締結について議決を求める議案」の二つの議案を審議可決しました。

助役の選任に同意

臨時会では、任期満了に伴う、町助役に向江重光氏を再任することに同意しました。

向江重光氏(五八)は、昭和三十一年に役場に入り、建設課監理係長、教育委員会庶務課長補佐、教育委員会庶務課長、総務課長を歴任され、昭和五十七年九月から町助役を務められています。

向江助役

松田建設と契約締結

加治木中・校舎増築工事

生徒数の増加に伴う加治木中学校の校舎増築工事は、入札の結果松田建設株式会社が四千五百十万円で落札、議会で請負契約を締結することが可決されました。

工期は、三月十日までで、普通教室・三教室が増築されます。

東町長が法務大臣表彰を受賞

戸籍事務管掌者

東國雄町長が十月一日、東京で行われた全国連合戸籍事務協議会総会の席上、法務大臣表彰を受けました。

これは、戸籍事務の管掌者として、戸籍制度の発展に寄与した功績が認められたものです。

表彰状を手に東町長

毎月十五日は防火の日

人命救助で町長表彰を

桃木野　登さん

東塩入の桃木野登さんが、人命救助の功績により九月六日、町長室で東町長から表彰を受けました。

桃木野さんは八月十三日十四時三十五分ごろノボル巧芸店前の満潮の網掛川に、自転車もろとも転落した女性を救出し、人工呼吸を施しそ生させ、救急隊に引き渡したもので、その功労が他の模範であると表彰されたものです。

桃木野登さん

34組のご夫婦が金婚式

敬老年金等贈呈式

合同金婚式

敬老の日を前にした九月十一日、敬老年金等贈呈式と、五十年間苦楽を共にして来られた三十四組のご夫婦の合同金婚式が福祉センターで行われました。

敬老年金等贈呈式では、町最高齢者の竹下アイさん(南塩入)をはじめ、八十歳以上の長寿者に東町長が年金証書を贈り「ますますご長寿に」と祝福しました。

また、長い間ねたきり老人等の介護をされている松元シヅエさんら三十八人に、東町長が見舞品を手渡し、労をねぎらいました。

合同金婚式では、五十年にわたる波乱の歳月を仲むつまじく過ごしてこられた三十四組のご夫婦が金婚の杯をくみかわし、互いの長寿を喜び合いました。

仲むつまじく50年

金婚式を迎えられたご夫婦

柳田吉次・シヅエさん(吉原)
新福重雄・ハルさん(吉原)
佐藤松夫・よし子さん(里ノ下)
小屋敷慶三・茂子さん(垂ノ口)
東良徳・房子さん(垂ノ口)
宮内盛幸・メイさん(端山)
竹下敬蔵・ナミエさん(端山)
二見勲・ヒメさん(於里)
大迫栄一・すみえさん(於里)
馬庭秀雄・キクエさん(西反土前)
西正夫・スミ子さん(楠原)
西島国義・ツルさん(岩原東)
黒田幸熊・トメさん(岩原東)
郡山茂・ノブさん(須崎)
中馬善四郎・シナさん(弥勒)
穂満政行・フミエさん(上木田)
上野昇・サエさん(西ひなば)
吉田武志・キヨ子さん(迫下)
大村貞男・タマ子さん(毛上)
地久里近・ハツエさん(上東木)
古木一夫・良子さん(柳田)
鍋倉美義・トキさん(竹下)
楠元満志・エイさん(小田倉)
満留武二・スミエさん(小田倉)
内村美良・チヨさん(市来原)
下木屋三郎・ウメノさん(高井田)
井上萬治郎・タケヨさん(高井田)
前田一夫・タツエさん(高井田)
宮内喜内・イロさん(鶴原)
神田橋肇・敏子さん(垂ノ口)
市野清見・フジさん(上東木)
内田虎一・ヨシ子さん(東諏訪)
日高為夫・サナ子さん(反土黒川)
野間実・ミ子さん(浜村)

地域ぐるみで交通事故防止

姶良西部地区総ぐるみ大会

住民の交通安全意識の向上をめざし、地域総ぐるみで交通事故防止を図ろうと、第十二回交通安全姶良西部地区総ぐるみ大会が九月十八日、溝辺町体育館で開催され五百人あまりが参加しました。

大会では、加治木ガスの久保田瑶二さん（安全運転管理者）が、事業所の立場から意見発表を行った後、地区民総ぐるみで①自ら交通ルールをよく守り、家族ぐるみの交通安全を起点として事故の撲滅を図ります②老人、子供及び身体障害者等の通行をみんなで守りすすんで誘導します③暴走運転、飲酒運転の絶滅のために、みんなで力を合わせ厳しく監視します④シートベルト、ヘルメットは確実に着用します、など四項目を実践していこうという宣言を採択しました。

意見発表を行う久保田さん

「お年寄りの事故が増えています」

弥勒長寿会が交通教室を開催

弥勒長寿会では九月二十五日会員三十人あまりを集め、交通安全教室を開催しました。

この日は、町の消防交通係が高齢者の交通事故の特徴をあげながら「お年寄りの歩行中の事故が増加しています。道路を横断する時は、左右を確かめましょう」などと指導を行い、参加者は熱心に聞き入っていました。

交通事故をなくそう

シートベルトの着用を呼びかけ

柁城小・鼓笛隊がパレード

〝秋の全国交通安全運動〟期間中の九月二十二日、柁城小学校の鼓笛隊（総指揮・横峯孝昭くん）百八十五人と交通安全協会・柁城分会員十人あまりが、交通安全を呼びかけ、蒲生田通りをパレードしました。

パレードでは、五年生の山崎祥子さんと犬童麻衣子さんが「車に乗る人はシートベルト・ヘルメットを着けましょう」「歩く人は飛び出しなどをしないで、事故のない明るい社会を作りましょう」などと道行く人に呼びかけました。

また、この日は弥勒交差点で「十号線アメ玉作戦」も行われました。

交通安全を呼びかけるパレード

家族で話そう交通安全 ⑤

「落とし穴」にご注意を

「とにかく、最近、原付（ミニ・バイク）の事故が多いですね」と、警察から帰ってきたばかりの交通安全指導員が真顔で話し始めました。

たしかに、数字をみると、今年の事故のうち三分の一近くが原付（ミニ・バイク）の事故で占められています。

「原付」とは、排気量五十c.c.以下のミニ・バイクをさすわけですが、今年になってどういう訳か、事故件数が急増しているのです。

「ウーム……」いっとき考え込んだ後、「どうしてでしょうね」そう答えるしかありませんでした。

そこで、事故内容をもう少し検討してみることにしました。

そうすると、ミニ・バイクの事故は、国道よりも道路の幅の狭い、裏通りの町道や県道に集中しており、なおかつ、交差点が圧倒的に多いことに気づきました。

そして、事故原因の大半は、〝見る〟という最も初歩的なことを怠り〝考えて判断する〟ことの誤りによって起きているようです。

ドライバーは「知識としての法規は理解していても、実際、路上で〝キチッと〟法規を守ることはとても難しい」のかもしれませんね。

しかし、一瞬の不注意が、我が身を傷つけるだけでなく、他人をも不幸につき落とすことになりかねないことを念頭において欲しいものです。

ミニ・バイクは、手軽で便利な乗り物として広く利用されていますが、その分〝落とし穴〟もあることを認識して乗ることが必要なんですね。

宇曽ノ木川の水生生物を調査

ふるさとの川観察会

ふるさとの川の水生生物を採取し、河川診断を行い、川をきれいにする心を培おうと〝ふるさとの川観察会〟が八月二十五日、宇曽ノ木川と網掛川で行われました。

この日は、上木田の子ども会員二十人あまりと、自治会員、町衛生協会員など合計約五十人が上木田公民館でビデオを見ながら水生生物の名前などを学習した後、宇曽ノ木川の九州自動車道下と、千鳥橋付近で水生生物を採取。同じ種類ごとに区分し観察しました。

観察会は、県公害規制課が県内七市町の協力を得て実施しているもので、宇曽ノ木川の観察結果は「やや良い」という状況でした。

十月ごろには詳しい結果が公表されることになっています。

どんな生物がいるかな

竜門長寿会が温泉病院を慰問

「社会奉仕の日」

小山田の竜門長寿会（岩元徳志会長）の会員三十人あまりが九月二十二日、温泉病院に入院している湯川秋雄さんや川原軍次さんなどを慰問し、大変喜ばれました。

これは、老人クラブが提唱している「社会奉仕の日」の行事として計画したもので、この日は、入院中の長寿会員の病室を訪れ「早く元気になってください」と激励しました。

湯川さん、川原さんらを慰問

おみこし音頭などを披露

公民館・民生委員婦人部

地区公民館と民生委員の婦人部員四十人あまりが九月二十八日、高井田保育園で行われた社会福祉法人晶貴会の第十三回運動会で、みこし音頭などのマスゲームを披露し、望岳園のお年寄りなどから盛んな拍手を受けました。

これは、町民体育祭に行けないお年寄りのかたがたにも、マスゲームを見てもらおうと、町民体育祭で踊る「思い出してください」「おみこし音頭」「町民音頭」の三つの踊りを披露したものです。

鎌田靖子さんは「公民館活動の方針の一つに〝地域のお年寄りに温かい手を〟ということも掲げており、民生委員婦人部の協力を得て計画しました。喜んでもらえれば……」と話されました。

運動会に華をそえる

せらせお知

税務署だより

所得税第二期分の減額申請

所得税の予定納税額の第二期分の納期は、十一月一日から十二月一日（本年は、十一月三十日が日曜日のため）までとなっています。

ところで、予定納税は、前年の所得を基に計算してありますので、今年になって店をやめたり、休んだりして、前年に比べ納税額が大幅に減る見込みの方や、火事や風水害などで財産に損害を受けた方などは、税務署に「予定納税額減額承認申請書」を提出されますと、第二期分の税金が減額になったり、納めなくて済むことがあります。

この「予定納税額減額承認申請書」の提出期限は、十一月十七日です。

財産を相続したら

財産を相続や遺贈（遺言によって財産を譲ること）によってもらった場合には、相続税がかかります。

相続税は、遺産の総額から亡くなった人の債務や葬式費用などを差し引いた「正味の遺産額」が、基礎控除額を超える場合に、その超える額に対して課税されます。

つまり、正味の遺産額が基礎控除額の範囲内であれば、相続税はかかりません。

基礎控除額は、二千万円と、四百万円に法定相続人の数を掛けた金額との合計額です。

例えば、法定相続人が妻と子供三人の合計四人の場合、基礎控除額は、二千万円と四百万円×四人で三千六百万円となりますので、正味の遺産額が三千六百万円までであれば、相続税はかかりません。

国税のことでお分かりにならないことがありましたら、最寄りの税務相談室や税務署にお気軽にお尋ねください。

▽税務相談室
☎0992－22－7554

▽加治木税務署
☎0995－62－2161

「岩原の桃太郎」に大爆笑

〝あすなろ会〟が敬老会で熱演

岩原の「あすなろ会」が、今年も九月十五日、岩原公民館で行われた敬老会で劇「岩原の桃太郎」を熱演し、集まったお年寄りは腹をかかえて大笑いしていました。

「岩原の桃太郎」は、物語の主人公より少し（？）女性的な桃太郎が、しぶしぶ鬼が島へ出かけ、鬼に負けてあやまるという話で、脚本・演出・小道具まで全部が会員の手作り。せりふはすべて鹿児島弁を使い、あすなろ会員が総出演で名演技を披露し、お年寄りたちは、しぐさやせりふのおもしろさに大笑いしながら熱心に見入っていました。

岩原の敬老会を大いに盛り上げた「あすなろ会」は、この日、蒲生町の南天園も慰問し、入園者から盛んな拍手を受けました。

「岩原の桃太郎」を熱演

『良か米が取れますように』

弥勒の垂水さん宅で田の神講

弥勒の下の班（四班）では、今でも春と秋の彼岸の中日に豊作を祈願する田の神講が続けられており、九月二十三日は垂水純夫さん宅で行われました。

この日は、前の座元の山口秀則さん宅できれいに化粧された田の神様と神棚を、座元の垂水純夫さんらがお迎えに行きました。

垂水さん宅では、地区民が集まり、歌や踊りで田の神様をもてなし、宴は夜遅くまで続きました。

田の神様をお迎えに

「朝、コップ二杯の水を」

健康をすすめる運動の集い

弥勒長寿会（湯川武夫会長、会員五十一人）では八月二十七日、古江病院の古江真知子先生を迎え、町保健センターで〝健康をすすめる運動の集い〟を開催しました。

これは、弥勒長寿会が今年から県老人クラブ連合会の「健康をすすめる運動」モデル地区の指定を受けており、その事業の一つとして実施したものです。

古江先生は「人間の体には、食道と気管、血管の三つの管があります。この管を伸ばしたり縮めたりできるようになると自己管理ができます。食道は水で縮みます。朝、鏡を見ながらコップ二杯の水を飲みましょう」などと、老人の健康について講演しました。

古江先生の講演

お知らせ

加治木団地

住宅付賃貸店舗の入店者を募集

県住宅供給公社では加治木団地の「住宅付賃貸店舗」の入店者を募集しています。

■所在地　加治木町新生町

■募集業種等　青果、衣料・小間物食堂　※その他の業種についてもご相談ください。（現在、パン・菓子店、精肉店、鮮魚店の三店が入居しています）

■入居予定　昭和六十二年三月

■月額賃貸料　十万円

■共益費　四千七百円／月

■申込受け付け期間　県住宅供給公社・管理課で、いつでも受け付けています。

鹿児島市新屋敷町16番21号

☎０９９２－２６－７８３１

●店舗配置図

今回
募集予定
加治木小
黒宮住宅
国道10号線バイパス（建設予定）
公園
公園
公園

日高一夫さんら9人を表彰

第8回社会福祉大会

思いやりの心で明るい地域社会づくりを進めようと、第八回町社会福祉大会が九月二十一日町営体育館で行われました。

大会には、老人クラブや民生委員協議会、愛護会、保護士会、身障協、保育協議会、母子寡婦会、望岳園、龍門の里などから五百人あまりが参加。長年にわたり民生委員として、要保護世帯などの保護指導に当たり、町の社会福祉の増進に尽力された伊部野の日高一夫さんをはじめ九人のかたがたに東國雄大会会長が表彰状を贈りました。

表彰を受けられたかたがたは、次のとおりです。（敬称略）

▽日高一夫（伊部野）▽山元重志（井手向）▽永原武男（永原）▽鎌田靖子（萩原）▽東良徳（垂ノ口）▽湯田平玉枝（吉原）▽大塚順子（岩原西）▽白浜重規（須崎）▽白浜正規（須崎）

80m競歩

福祉の向上に尽力されたかたがた

スポーツで交歓

福祉スポーツ大会

福祉大会に引き続き、福祉スポーツ大会が町営体育館で行われ、日ごろスポーツに親しむ機会の少ない参加者たちは、思いきり体を動かし、交流を深めていました。

第四回のボーリング大会では、一回で二本のピンを倒し、大喜びでバトンタッチするお年寄りや、逆になかなかピンが倒れず悪戦苦闘するご婦人の姿も見られ、各競技に応援席からは笑いと大きな声援が一日中沸いていました。

暮らしの法律相談 ⑦

住所地に本籍を移したい

質問

私たち夫婦の本籍は北九州市にありますが、私の現在の勤め先は加治木町です。本籍が遠くて、戸籍謄本などをとるのに手間や時間がかかって不便です。本籍を現在の住所地に移したいのですが、どのような手続きをしたらよいでしょうか。

また、本籍を移した後の戸籍には、どんな事項が記載されるでしょうか。

回答

◆転籍とその手続き

戸籍のある場所を変更することを転籍といいます。転籍は、戸籍筆頭者及びその配偶者が共同でその届出をすることによって、これをすることができます。

（戸籍法第一〇八条一項）

同籍者の同意などは必要でなく、日本の領土内であれば、同一市町村内の他の場所へでも、他の市町村へでも、自由に転籍できます。また、実際に居住していないところに転籍してもさしつかえありません。

転籍の届出は、届出人の本籍地または所在地のほか、新しい転籍地ですることもできます。

（戸籍法二五条・一〇九条）

そして、同じ市町村内への転籍を①本籍地でする場合には一通②所在地でする場合には二通の届書が必要です。③他の市町村への転籍を本籍地・転籍地以外の所在地でする場合には、三通の届書を必要とします。そのほか②と③の場合には、転籍届に戸籍謄本を添えねばなりません。

（戸籍法一〇八条二項）

転籍届が出されると、それが同一の市町村内の転籍である場合には、転籍事項を記載して本籍欄が訂正され、新戸籍の地番順に戸籍がつづり直されるだけです。

他の市町村に転籍する場合には、従前の市町村ではこれまでの戸籍を取り除いて除籍簿に移し、転籍地の市町村で新しい戸籍を作ります。この新しい戸籍には、従前の市町村の戸籍の記載全部が移記されるべきでしょうが、手数を省くため、筆頭者以外の除籍された者の身分関係を記載した事実、子を認知した場合の認知事項、離婚・死亡などによって夫婦関係が解消した事項などは、新戸籍には移記しないことになっています。

（戸籍法十三条）

したがって、転籍すると、それまでの戸籍に記載されていた事項のうち重要な事項だけが移記されるため、戸籍がきれいに整理されるという利点がありますが、相続など登記の時は全部の戸籍が必要です。

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽にご相談ください。秘密は固く守られます。

▽宮城俊治　反土一五四七蔵王団地四七―二B―十四（電話　六三―三七八七）

▽中摩多美子　反土二七五六（電話　六二―二七六八）

▽岡山秀樹　錦江町二五三番地二（電話　六三―二八七八）

町は六十一年度「人権モデル地区」に指定されています

錦江第二地区が優勝

地区対抗青壮年ソフトボール大会

優勝した錦江第２地区

地区対抗青壮年ソフトボール大会は八月三十一日、十三チームが参加して町営グラウンドで行われました。

大会では、秋晴れの下、地区民の盛んな声援を受け熱戦が展開され、錦江第二地区が優勝しました。

決勝戦・三位決定戦の結果は、次のとおりです。

▽決勝戦

錦江第二地区　0 0 1 0 1 1 ×　3
錦江第一地区　0 0 0 0 0 0 1 0　1

▽三位決定戦

城西地区　2 1 4 0 ×　7
木田第二地区　0 1 1 0 0　2

15チームが熱戦を展開

秋季婦人バレーボール大会

秋季婦人バレーボール大会が九月十四日から十七日の四日間町営体育館で行われました。

これは、より多くのチームが参加できるようにと、夜間開催したものでAクラス五チーム、Bクラス十チームの十五チームが参加し、熱戦を展開しました。

結果は次のとおりです。

■Aクラス…**優勝**加治木スポーツ
▽二位竜門ママチーム
▽三位柁城チーム

■Bクラス…**優勝**カトレア
▽二位錦江フレンド
▽三位ハッピーコスモ

好試合が続出

城南子ども会に栄冠

第９回さわやか少年ソフトボール大会

九回目を迎えたさわやか少年ソフトボール大会が九月二十一日、加治木中学校グラウンドで行われました。

これは、町子ども会育成連絡協議会が、異年齢集団の中で助け合う心を培おうと、南九州コカ・コーラボトリング㈱やソフトボール協会の協力を得て実施しているもので、十五チームが熱戦を展開しました。

結果は次のとおりです。

▽優勝…城南チーム
▽二位…札立・萩原・棚目チーム
▽三位…竜門チーム、港町チーム

優勝した城南チーム

地区総ぐるみでスポーツの祭典

第一回　竜門校区体育祭

地区民の親睦を深め、地域の活性化を図ろうと第一回竜門校区体育祭が九月七日、竜門小学校を会場に地区民総出で行われました。

体育祭は、地区対抗のソフトボールとバレーボール、ゲートボールの三種目。「補欠は無制限、交替は自由」というルールもあり、日ごろ運動不足気味（？）のお父さん・お母さん方やお年寄りなどが和気あいあいの雰囲気の中、競技に取り組み、応援の子供たちから盛んな拍手が沸いていました。

篠崎秋明実行委員長は「年齢を問わず、やりたい人はだれでも参加できる体育祭です。名プレーよりも迷プレーや珍プレーを期待しています」と話されました。

スポーツの秋を満喫

百八十四人が昇段

剣道昇段審査

県剣道連盟・加治木支部（増田昌弘支部長）が主管する剣道昇段審査は九月七日、町営体育館で行われ、鹿児島市や郡内から集まった百八十八人が、日ごろ鍛練した技を披露し、審査を受けました。

昇段者は次のとおりです。

▽初段合格者　百九人
▽二段合格者　四十人
▽三段合格者　三十五人

第四十回「読書週間」

10月27日～11月9日

第四十回〝読書週間〟が、『読書は永遠のニューメディア』をテーマに、文化の日を中心とした十月二十七日から十一月九日まで行われます。

本に親しむ良い季節――。

町立図書館では、皆さんの希望の多い本の中から、重点的に購入する予定です。

ご希望をお寄せください。

鉄道関係の資料を展示

読書週間を記念して、鉄道関係の図書・雑誌などの資料展示会を、十月二十七日(月)から十一月八日(土)まで、町立図書館閲覧室で開催します。

■町立図書館☎62－2605

肉用牛など58頭を審査

町畜産品評会

町畜産品評会は八月二十二日旧鎮守小学校跡地で開催され、肉用牛四十一頭と肉牛九頭、種豚八頭の計五十八頭が出品され慎重な審査が行われました。

この結果、九月十七、十八日姶良中央家畜市場で行われた郡肉牛共進会に十九頭（肉用牛十一頭、種豚八頭）が出品されました。

成績は、次のとおりです。

▽団体成績

肉用牛…①辺川②小山田③木田④西別府

肉　牛…①木田②小山田③反土

種　豚…①反土②小山田③西別府

▽個人別成績（最優秀）

肉用牛一部…末吉キミ子（小山田）大宮路誠（辺川）大宮路魁（辺川）市野親義（小山田）前田秋義（小山田）川原秀男（小山田）前村勝男（辺川）小宮路ヨシエ（辺川）

肉用牛二部…樗木太（西別府）日高春雄（小山田）内村勝男（小山田）樗木春男（西別府）

肉用牛三部（育種高等登録群）前田秋義（小山田）

肉用牛五部…外園貢（辺川）前田秋義（小山田）大宮路栄（辺川）

肉用牛六部…前田秋義（小山田）有馬義則（木田）中野光雄（辺川）

肉牛（去勢の部）市野親義（小山田）

肉牛（めす牛の部）…市野親義（小山田）垂水豊（木田）石原五男（木田）下楠園正昭（木田）

種豚（未経産の部）…柚木満（反土）内村敏幸（西別府）南原春男（小山田）地久里光志（小山田）

◎チャンピオン賞（農委会長賞）肉用牛の部＝末吉キミ子（小山田）肉　牛の部＝市野親義（小山田）種　豚の部＝柚木　満（反土）

発育は良好

前田秋義さんの牛がグランドチャンピオンに輝く

郡畜産共進会は、九月十七、十八日の二日間、姶良中央家畜市場で開催され、加治木町から出品した前田秋義さんの肉用牛三頭が、肉用牛部門のグランドチャンピオンに輝き、また、末吉キミ子さんの「ありあけ2の4号」も肉用牛二部で最優秀を獲得しました。

ゴールデンロードランブル

金山道漫歩 4

オゲモンサア（祇園祭）

チキーガーヤーソーラ、マータ、ヨーセーカーケータ、テイーヨー（月が夜空に、また寄せ駈けた、それ）……余韻のある隠語呪文にも似た阿吽の響きをもつシュプレヒコールが街いっぱいに拡がり、真っ青な夏空に真っ赤な大傘が舞い上がる。

うす水色の裃に脇差、菅笠、股立ち取ったりりしい男たちのいで立ち、みこしの後に続く山車上は艶やかな芸者衆の白い手が、一斉に揃う見事な撥さばき、威勢のよい囃子、活気に満ちた行列は街並みを練り回る。

このお祭りは、港町にある八坂神社の年間行事で、毎年夏の盛り旧歴六月十四、十五日にわたるオゲモンサアである。（祇園祭は元来、疫霊を払うのが祭の目的であったが、中世末から近世にかけて、商売繁盛を願う祭になってきた）加治木城南地区の氏子たちは、上組・蒲生田組・仲町組・納屋組・西町組の五つに分かれ、炎天下に繰り広げる喧華傘、肩のせ、アゴのせなど見応のある妙技芸当を各組競いながら、行列は黒川水神に着く。裃を通す程流れる汗を、海から吹いてくる南風が木陰の中で、心地よく拭き取ってくれる。氏子たちは丁寧に御神体みこしを日木山川を挟んで対峙する祇園の州に向け安置する。

そもそもここに鎮座ます素戔嗚尊に、おみこしの稲田姫命が年一度のデートをお楽しみになられるからである。

この間、氏子たちはカキ氷や冷しすいかで涼と空腹を満たし午睡ができるぐらいの休憩をとり、今来た道に踵を返し、夕日を追いながら頭屋元に着く。

頭屋元は元来、町で格式のある分限者が選ばれて、ここにおみこしは一晩仮宿される。辺りも暗くなるころ篝火が灯され、竹垣格子に張られた紺の陣幕がとても美しく、時代考証的効果をかもし出す夜が更けてゆく。

各組の大人たちはダレヤメを浴びる程飲み、子供たちはウドンドッのオツケ（青のりに豆腐をウドン状にこま切れにした醤油汁で、白と緑のコントラストが美しい）に山盛りいっぱいの銀めしをたらふく喰う競争がある。そのため子供たちは、ジッドレッ（腹いっぱいで動けぬ様）大人は介抱されることおびただしかった。

また、頭屋元では、冷しソーメンふるまいがあり、大きい丼からソーメンの水を人さし指と親指で切りながら、カラシ入りの濃い汁にちょっと通し漬けして絶えることなく口にすすり込む、通の喰い技は絶妙窮まるものがあった。

オゲモンサア（当時の想像図）

八　坂　神　社

五十回も献血運動に協力

頼岡利明さんら五人に有功章

有功章を受ける

これまで五十回も献血運動に協力された頼岡利明さんに金色有功章が、また、三十回も協力された三反耕一さんら四人のかたがたに銀色有功章が、県赤十字血液センターから贈られ、伝達式が十月二日、町長室で行われました。

有功章を受けたかたがたは、次のとおりです。（敬称略）

◎金色有功章　（五十回）

頼岡　利明

◎銀色有功章　（三十回）

三反　耕一　　南谷　達男

岩戸　憲一郎　　小濱　寛司

献血運動功労者表彰を受ける

県知事表彰　加治木高校

保健所長表彰　加治木産業

学校ぐるみで献血運動を推進している加治木高校が八月二十二日「県知事表彰」を、また、町内の二工場で多数の献血協力者の確保に努め会社ぐるみで献血運動に取り組んでいる加治木産業㈱が九月十八日「保健所長表彰」を受けました。

献血運動は昭和三十九年から始まっており、加治木高校は、昭和四十年からほとんど毎年、三百人あまりが献血に協力しています。

保健所長表彰は九月十八日、保健センターで土屋加治木保健所長から加治木産業へ贈られました。

表彰を受ける加治木産業

クチナシ

夕闇や
山梔子に白く風わたる　子規

クチナシの花は夕方から咲きはじめるが、薄闇に目に泌みるほどの純白が印象的である。それで「日暮の花」ともいう。馥郁とした芳香を放って人の心を魅了し、楽しませてくれる。

この果実は、熟しても決して口を開かないので「口無し」の意からこの名がつけられた、という。

面白いのは碁盤の足で、形がクチナシの実をかたどっており「口無し」つまり「助言無用」を意味しているといわれる。

クチナシの花は、昔からお茶に入れて芳香を楽しみ、咲きたての花弁を梅酢に浸して生食し、また、お湯をそそいで酢味噌あえにして食べていた。時に乾燥をもち、赤くなっているはれものに内服・外用する。内服は、乾燥した実をせんじて飲むか、黒焼きにして飲む。外用は、実を粉末にし、等量の小麦粉をまぜ、酢でねってつける。

保存して利用している。

薬用は実で、晩秋にとり七日以上霜に当て良く乾燥する。民間薬として活用されているが、そのいくつかを…。

炎症をとる効があるので、熱気分を落ちつける効があるので、興奮して眠れない時、実をせんじて飲むとよいそうです。

食道にできものがあったり、食道炎で食物の飲みこみが困難な時、実をせんじて飲むと、著しい効果があるといわれます。

口内炎や歯ぐきのはれ、扁桃炎には実をせんじ、うがいをしながら飲むとよいそうです。

クチナシの実は、布を黄色に染めるのに用いられた。酢や灰汁を使うと発色がよい。食品にも幅広く活用され、この実で染めた黄金飯がお祝いに使われていた、といわれる。

竹の箸、白木で作った箸は初めに、この実で煮ると黄色に染まり、黒いしみがはいることがない。

山梔子の
熱して庭の冬至かな　碧童

（筆者　県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、ご遠慮ください。

竜門句会

点滴の有無を言はさぬ西日中　鶴田　耕

帰省子のまず井戸水を汲みて飲む　柳田　稔

冬瓜の産毛に夕日余りをり　内田美津代

白木槿戦死の兄の捨てし恋　川崎　黒兎

二日月かかりて機影の遠目にも　川上　節子

落人の里に木天蓼売る茶店　古江　重美

秋晴や金鉱石を積む港　加藤　白柳

よそ目程倖せならず蛙きく　佐々木かすみ

公園に音頭取る蟬和する蟬　髙木　正男

幾千の顔のほてりや傘かがり　竹山　洋子

20周年記念“町文化祭”

文化協会は今年設立20周年を迎えます。

▷芸能の部

11月3日　12時30分～16時（昼の部）

　　19時～21時　　（夜の部）

▷展示の部

11月2日　13時～17時

　　3日　9時～17時

※会場…町福祉センター

お知らせ

一般の作品を受け付け中
第二十八回町美術展

芸術の秋――。

町教育委員会では、町内の小、中学校の児童・生徒を対象に、町美術展を十一月七日(金)から九日(日)まで、福祉センターで開催します。

このため、今年も一般のかたがた（高校生以上）の絵画・写真・書・手芸などの展示参加・協賛を受け付けています。（無審査です）

■作品の受け付け
十一月五日（水）まで

■問い合わせ先
町教育委員会・学校教育課
☎六二―二一一一、内線四五

インフルエンザを防止しよう。

インフルエンザが流行する季節です。次のことに注意しましょう。

▽インフルエンザを防ぐには

■保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校の児童・生徒（三歳未満を除く）は、予防接種を受けましょう。

■食事の前は手を洗い、帰宅した時には必ずうがいをしましょう。

■睡眠や栄養を十分とり、体の抵抗力をつけておきましょう。

▽インフルエンザにかかったら

■速やかに医師の診察を受け、体を休めましょう。

■ほかの人への感染を防ぐためマスクをつけましょう。

▽消毒も忘れずに

■患者のたん、つば等で汚れた紙等は焼き捨てましょう。

■患者が使用したタオル、ハンカチ、食器などは煮沸消毒しましょう。

■患者が使用した寝具や着用した衣類は、たびたび日光消毒を行い、環境を常に清潔に保ちましょう。

一般廃棄物最終処分場の投入を規制

長年にわたり町民の皆様に御利用いただいております、本道原の「一般廃棄物最終処分場」（通称「危険物捨場」）の残余スペースが減少しつつあります。

このため、やむを得ず「廃棄物の処理と清掃に関する法律」（以下「法」という）により、投入物の種類によって規制を実施します。

規制実施後は、自らの責任において処理する（法第一〇条第一項）ことになります。

■規制の対象になる物
産業廃棄物及びこれに類する物

（例）
○建築廃材――工作物の除去によって生じたコンクリートの破片、その他これに類する不要物
○土木・建設工事に伴って排出される土砂

■規制開始（予定日）
昭和六十二年四月一日から

十一月五日から発売
お年玉つき年賀はがき

毎年ご好評をいただいている、〝お年玉つき年賀はがき〟は、今年も十一月五日(水)から四十円と四十五円の二種類が発売されます。

四十五円は、新年にふさわしい『高千穂峰』『寒牡丹』『うさぎと梅』がカラー印刷されています。

四十五円のものは、三円の寄付金が含まれており、癌の研究、治療のための機器の整備や、お年寄りのための施設などに役立てられています。

加治木郵便局では、十月中旬以降買い受け申し込み予約を受け付けます。

十月は、町県民税・固定資産税（第三期）の納期月です。

うぶ声

出生児　保護者　自治会

吉岡あけみ　靜治　里ノ下
吉田裕一朗　政義　春日団地
木佐貫仁美　義博　天神
前原　裕太　雅文　蔵王団地
豊留　理恵　和久　西塩入中
山路　和伯　正文　小鳥
佐藤　彩　裕昭　下浜
竹原麻里子　達人　田中
兵頭　俊寿　良秋　下浜
児玉　智寛　正行　赤坂
鬼丸　聡子　高恒　小鳥
江夏　賢　利成　西塩入下
南郷　翔吾　和廣　蔵王団地
武井　奨太　敏也　今町
石原　慎二　博和　上木田
里之園耕一　馨　中塩入
永江　啓祐　正樹　須崎
櫨田麻梨子　博美　豊町
柿内　公一　希夫　赤坂
濱島　恵　一男　萩原
瀬戸　涼子　正志　西塩入上
竹之内瑠美　信行　蔵王団地
谷口　和広　昭二　蔵王団地
中丸　順貴　正信　春日団地
西濱ちあき　明　蔵王団地
野迫　潤　貞実　東諏訪
川路　亮　政丈　口ノ町
白石　恵梨　克明　下新道

▽九月二十日までに住民票に記載された分を掲載しました。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

五万円　中野　坂元タミ子（夫　一夫五九）
三万円　高井田　有村ハツ子（母　岩元スエ　七四）
二万円　高井田　八木孝一郎（母ヤス子四九）
三万円　吉原　前田龍子（夫　秀男七三）
八万円　西反土前　新添ハル子（夫辰夫七六）
二万円　新町　柱野　尚（母ケサノ八四）
五万円　於里　阪口キミ（夫　立志　八三）
五万円　南塩入　宅間房子（夫　伸幸　五三）

＝町老人クラブ連合会へ＝

西反土前　新添ハル子（夫辰夫七六）

▽九月二十日までのご寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

特別寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

▽五万円
錦江町二五三―一　永井　良江

ありがとうございました。